



四小だより

令和7年1月10日号 No.14

いちょう

山形市立第四小学校

校長 樋口 潤一

<児童数 189 名>

〒990-0055

山形市相生町4番37号

TEL 623-6019

FAX 633-9321

令和7年・2025年もよろしくお願いいたします！

—新たな学び・新たな学校の姿を求めて創造し続ける1年に！—

令和7年・2025年の新しい年を迎えました。今年の干支は「乙巳（きのと・み）」、私（樋口）が生まれた昭和40年と同じ干支が、60年の時を経て再び巡ってきました。つまり私は今年60歳、還暦の年を迎えています。

「乙巳」の年は、草木が固い殻を破って芽吹いたり、蛇が脱皮するように、これまでの古い慣習や体制を改めて、新しいものを創り出していく巡り合わせになると言われています。これまでの乙巳の年を見てみると、例えば645年の大化の改新や、1185年の源頼朝による鎌倉幕府創設など、歴史に刻まれる時代の大きな変革がありました。私が生まれた1965年も、前年の東京オリンピック開催を契機に、日本の高度経済成長が加速していった年でした。

昨年末の「いちょう」13号にも書きましたが、私たちはすべての子どもが「自立した学習者」として育つことができるような授業づくり、学校づくりを全教職員で追究しています。「私は今、～をするために…を調べています」、「私は、～したいけどなかなかうまくなくて、どうしたらこの問題が解決できるか〇〇さんと一緒に考えています」、「今日はここまでできたから、明日は～をしたいと考えています」、「この研究で～をもっと改善したい」…このような言葉が交わされる四小の子どもたちの様子を見ると、私たちが求めている「新たな学び」がすでにそこに芽吹き、古い皮を脱ぎ捨てた「新たな学校の姿」がはっきりと見えていると感じます。

本校の日塔主任主査が、新春を寿ぐ花と飾りを玄関に設えてくださいました。私は今年の干支「乙巳」と、新たなものを創り続ける意志を「新創（しんそう）」という言葉に込めて書き初めをいたしました。私たちの挑戦を今年も支えていただきますようお願い申し上げます！

日塔主任主査が生けてくださった花と正月飾り

